

(仮称) 綾瀬スマートインターチェンジについて



平成23年5月21日（土）・22日（日）

綾瀬市役所 7階 市民展示ホール

神奈川県・綾瀬市

目 次

- 1 (仮称)綾瀬スマートインターチェンジの必要性 1
- 2 これまでの検討経緯 1
- 3 期待される整備効果 1～2
- 4 計画の概要 2
- 5 今後のスケジュール 2

「(仮称)綾瀬スマートインターチェンジ地区協議会」に関するホームページ

神奈川県

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7836/>

綾瀬市

<http://www.city.ayase.kanagawa.jp/hp/menu000015500/hpg000015449.htm>

1 (仮称) 綾瀬スマートインターチェンジの必要性

東名高速道路の横浜町田 I C と厚木 I C は、約 15 k m 離れており、この間に位置する綾瀬市等からは、両 I C にアクセスしにくい状況にあります。

このため、両 I C のほぼ中間に、新たな I C を設置することにより、県民生活の利便性の向上や地域経済の活性化とともに、既存の両 I C 周辺の渋滞緩和を図るものです。

2 これまでの検討経緯

綾瀬市は、平成 14 年度から綾瀬 I C の設置に向けた検討を進めており、平成 15～16 年度には「綾瀬インターチェンジ検討調査委員会」を開催し、I C の必要性や効果等を取りまとめています。

県では、平成 17 年度から I C の設計や環境影響評価（アセス）の現況調査等を行っており、国のスマート I C 制度の導入を受け、平成 22 年度からはスマート I C としての具体的な調査・検討を進めています。

○平成 22 年 5 月～ (仮称) 綾瀬インターチェンジの実現に向けた勉強会

スマート I C 計画の具体化に向け、I C の構造形式や接続道路の概略検討などを行っています。

○平成 23 年 1 月～ (仮称) 綾瀬スマートインターチェンジ地区協議会

国の「スマートインターチェンジ制度実施要綱」に基づき設置したもので、事業の実施計画書の策定に向けて、学識経験者や国、中日本高速道路(株)、地元経済団体等とともに、I C の構造形式や費用対効果、周辺道路の安全性等について検討・調整を進めています。

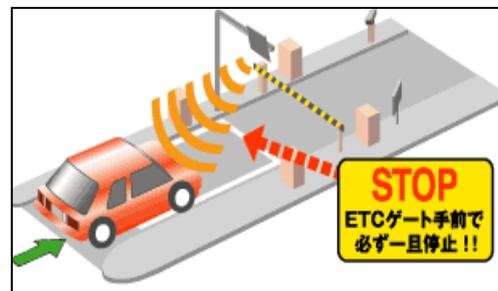
*スマート I C とは

- ・高速道路の本線やサービスエリア (SA) ・パーキングエリア (PA) 、バスストップから乗り降りができるように設置される I C です。
- ・通行可能な車両を、ETC 車載器を搭載した車両に限定していることから、ETC ゲートのみの簡易な料金所の設置により、従来の I C に比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。

◎全国の整備状況

種 類	高速道路側の接続先	整備状況 (箇所)
SA・PA 接続型	サービスエリア パーキングエリア	49
本線直結型	高速道路本線 本線上のバスストップ	7

* 箇所数は平成 23 年 4 月 28 日現在



3 期待される整備効果

① 広域アクセス性の向上

県内において I C までの 5 k m 圏域が大きく拡大することとなり、綾瀬市など県央地域の広域アクセス性が大きく向上します。

②既存 I C 周辺の交通負荷の軽減

東名高速道路へのアクセスが分散することから、既存 I C 周辺の交通負荷が軽減されることが予測されます。

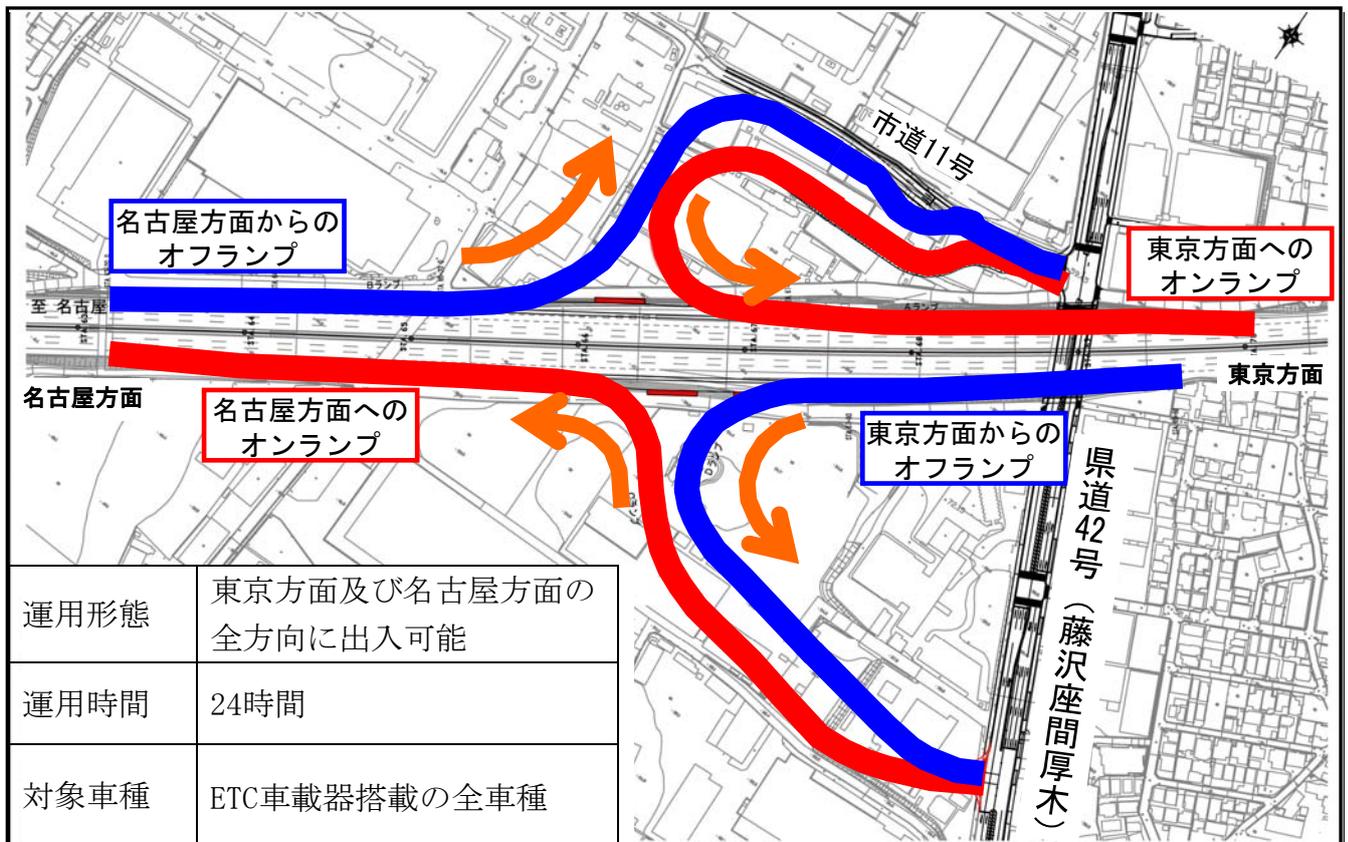
③救命救急センターへの速達性の強化

東海大学医学部附属病院及び昭和大学藤が丘病院までの所要時間が大幅に短縮され、(仮称)綾瀬スマート I C アクセス圏域における救命体制の強化が図られます。

④企業活動の活性化

交通利便性や広域アクセス性が改善することから、I C 周辺における企業活動の効率が向上するとともに新たな企業進出など産業経済の活性化が期待されます。

4 計画の概要



*本図面は I C 構造の概略を示すものであり、確定したものではありません。

5 今後のスケジュール

平成29年度末までの供用開始を目標に、引き続き関係機関等と必要な検討・調整を行いながら、下記にお示ししている手続きを進めてまいります。なお、検討・調整状況については、今後も随時、広く皆様に情報提供を行ってまいります。

